

## むし歯科

むし歯科ではむし歯や根管治療、審美歯科を主に担当します。  
それに加え、口腔外科(約1ヶ月)、小児科(数週間)、麻酔科(数日)、矯正科(数日)などの研修があります。

### CR 充填



### ホワイトニング



研修は、指導医のアシストから始まり、診療の一部を担当、担当医となり診療を行う患者を受け持つ場合などが徐々に増えていきます。

日本歯科保存学会 指導医/専門医/認定医 多数

日本歯科審美学会 認定医 1名

## 歯周病科

### 北海道大学病院歯周病科での研修

歯周病科は歯周病治療を主体とした保存治療全般及び歯周組織手術だけでなく、抜歯や補綴治療も包括した一口腔単位での総合的な診療を行っています！



#### 研修内容

- ・ 担当患者の歯科保存治療（歯周治療・根管治療・う蝕治療・メンテナンス/SPT等）
- ・ 当科指導医の高度で専門性の高い保存治療（重度歯周病患者の治療・難治性歯内疾患治療／マイクロエンド／Ni-Tiロータリーファイル）や歯周組織手術の介助/見学
- ・ 指導医患者の一部治療の担当やメンテナンス/SPT
- ・ 当科研修医患者担当実績 平均 10-15名/1年

#### 研修指導医

- ・ 最初の一ヶ月間の研修後に希望するメイン指導医を診療科長と面談して決定します。
- ・ メイン指導医には歯周病科研修時の診療アシストに付く以外に、症例の治療計画/相談や治療時のチェックを受けることができます。

#### 歯周病科で取得できる認定資格

- ・ 研修医修了後、さらに当科で研鑽を積むと、歯周病学会認定医、歯科保存学会認定医が取得でき、上位資格の歯周病専門医、歯科保存専門医への道が開けます。

## 義歯科

### 義歯科の紹介

義歯補綴（全部床義歯、部分床義歯）、歯冠補綴、インプラント補綴に加えて、顎補綴や咬合治療を主に行っています。咬合・咀嚼を通して健康長寿の延伸に貢献することを目的とする**やりがいのある分野**です。



### 研修内容

- ・ 総合歯科研修を通じて、補綴歯科治療をはじめ1口腔単位で治療を行うことのできる歯科医師の育成を目指します。（配当実績約 **10名** / 1年）
- ・ 補綴学会**指導医・専門医がマンツーマン**で補綴臨床の指導を行います。
- ・ 全部床義歯と部分床義歯のセミナーを行い、義歯補綴に関する最新の知識と技術について学びます。

### 卒後の進路

大学院では、カーボンナノ物質の生体材料への応用、全身と咬合、補綴治療に関する臨床研究などの研究を行います。留学も可能。

**指導医が多い**ので補綴歯科学会**認定医・専門医（標榜可能）の取得**も最短で！大学院進学以外の進路についても相談に乗ります。

## クラウン・ブリッジ歯科

**学生教育**：冠橋義歯補綴学，口腔インプラント学，口腔医療情報学。

**研修医教育**：歯科医師として、また、社会人を踏み出す第一歩として極めて重要な時期です。個々の歯の処置だけではなく口腔全体を見渡し、どのような噛み合わせを構築すべきか、患者さんとどう向き合うべきかを考える能力、さらには、適切な基本手技に裏付けられた臨床技術を磨くことは、研修医に価値があると思います。口腔内スキャナーや3Dプリンター、ウェアラブル筋電計、咀嚼機能検査機器など、最新のデジタル機器にも精通しているので、関心のある方には良き学びの場になると思います。

**診療**：補綴治療全般（**クラウン、ブリッジ、口腔インプラント、義歯、顎義歯**）を行っています。咬合・顎機能異常やCAD/CAM冠を始め、顎関節症、歯ぎしり、オーラルアプライアンス全般、顎顔面補綴、顎変形症に対するチームアプローチ参画、インプラント治療など、大学病院としての高度・高難度補綴歯科治療に取り組んでいます。また、医局員は外来診療だけでなく、研修医をメインとした基礎ゼミから、症例検討会まで広く勉強する機会を得て日々研鑽を積んでいます。インプラント治療では、最新の科学的情報に基づいた治療を展開・教育するとともに、デジタル歯科治療を積極的

に取り入れています。デジタルインプラント治療、口腔内スキャナーや3Dプリンターを応用した補綴歯科治療、ウェアラブル筋電計、咀嚼機能検査機器など、最新のデジタル機器に精通していますので、関心のある先生方には良き学びの場になると思います。



モノリシック  
ジルコニアブリッジ



デジタル技術によるインプラント治療

## 高齢者歯科

北海道大学病院という北海道で最大の医療機関でライフステージの

全てを支援できるような歯科医療者としての能力を培うことを目標とします。

○様々な疾患・社会背景をもつ高齢者に配慮した上で、

様々な歯科処置（保存・補綴・外科）に習熟することができます。

○高齢者歯科でしか学べない**歯科**があります！見学はいつでも歓迎です！

◆**高齢者医療**(義歯・インプラント・口腔機能精密検査)

◆デジタルデンティストリー ◆**IoT・AI**

◆**嚥下機能評価(VE・VF)** ◆**多職種カンファ**

◆周術期口腔機能管理(**血液内科**等、病棟対応、他)

◆**訪問歯科診療** ◆**NST**

急性期・回復期・慢性期と移行していく、様々な疾患・背景をもつ患者と接し、そのステージで提供すべき適切な歯科医療を考えていきます。研修終了後に自分が関わりたい**ステージ**や**診療**、**研究**にきっと出会えるはずです！



教室 HP はこちら (<https://www.den.hokudai.ac.jp/koreisha/>)

## 矯正歯科

無し

VE

## 小児・障がい者歯科

### 研修内容

- ・小児歯科学会専門医と障害者歯科学会認定医・専門医（指導医含む）である教員が臨床指導を行います。
- ・初診業務を行っていただきますので、初診の患者さんが来た際の対応（医療面接の行い方、診察、診断、治療計画の立案）を学ぶことができます。
- ・指導教員の治療の補助を行いながら、可能な限り、実際の治療も担当していただきます。

### 所属研修医の声

毎日、かわいい子ども達と接しながら、研修に励んでいます。障害のある患者さんの治療では、配慮する点が多いですが、人として医療にどう向き合っていけば良いかを考えることが多く、自然と患者さんに対する接し方が身に付きます。患者さんが快適な治療を受けられるように、そして私も安全・安心な治療を行えるように、学ぶことも多く、充実した毎日を過ごしています。診療後に形成の練習なども指導していただけたります。やる気があればそれに応えていただける環境だと思います。

### 卒後の進路

研修修了後、歯科医院に就職することも可能ですが、小児・障害者歯科所属の研修医の大部分は大学院に進みます。大学院では臨床系か基礎系の研究を行います。当科で学ぶことにより、小児歯科学会認定医・専門医、障害者歯科学会認定医・専門医を目指すことができます。当科出身の多くの先生は小児歯科、障害者歯科のみではなく、一般歯科としても開業されています。また、当教室は各大学に多くの教授を輩出しており、卒後の進路で大学を考えている人にもおすすめです。

## 口腔内科

単独型もしくは複合型の研修医が所属して歯科研修を行います。外来はもちろんのこと、入院病棟や中央手術室にての研修も行います。

### 研修内容

- ・全身がわかる人間性豊かで質の高い臨床能力を持つ「良き臨床医」の養成を目指します。
- ・多数の学会指導医・専門医・認定医が口腔内科・口腔外科の臨床指導を行います。
- ・初診患者 150～200 名担当、抜歯本数約 400 本など（昨年度実績）。
- ・臨床に役立つセミナー、勉強会などを通年で行います。
- ・学会参加はもちろんのこと、やる気があれば学会発表も可能です。



### 所属研修医の声

口腔内科疾患では所見・問診の取り方から治療方針まで研修医主体で関わることができます。また、当科若手向けのセミナーも充実しており、最新の知識をブラッシュアップすることもできます。さらに口腔外科疾患では上級医指導の下、智歯抜歯をはじめとしたマイナー手術に実際に執刀医として携わることができます。さらにインプラント関連、顎変形症や悪性腫瘍などのメジャー手術や入院患者の管理も上級医と相談しながら主体的に経験することができます。

### 卒後の進路

大学院に進学すると歯学部内のみならず医学部、薬学部などで研究を行うことも可能です。また道内外に関連病院があり、活発な人的交流もあります。



医局ホームページ

<https://www.den.hokudai.ac.jp/kouge1/>

## 口腔外科

当科では、「1)口腔とは、形や容積を変えることにより、咀嚼・構音・嚥下などの重要な機能を果たす器官で、2)口腔には代謝活性の低い歯と生物学的ルールに基づく自然治癒力がある歯周組織からなる」ことを理解し、鑑別診断を行い、治療方針を立案できる口腔外科医の育成を目指しています。

### 研修内容

- ・外来研修では、新患を担当して鑑別診断や治療・手術方針立案の考え方を学びます。抜歯などの小手術も担当できます。一連の流れの中で、臨床に必要な知識と手技を身につけることができます。
- ・病棟研修では、中央手術室で行われる、がん・顎変形症・口蓋裂・良性腫瘍や嚢胞の手術に関わり、手術について学ぶことができます。また、全身疾患のある患者さんの周術期管理を学ぶことができます。
- ・毎年行う CST 研修に参加し手術手技を習得できる機会があります。

### 研修医の声

たくさんの患者さんを担当し、いろいろな手術に関わることもできています。とても充実した研修を受けることができます。

### 卒後の進路

大学院では、基礎教室でも研究をすることができます。また、北海道内外の病院歯科口腔外科で研修を積み地域医療を学ぶことができます。

医局ホームページ：<https://www.den.hokudai.ac.jp/kouge2/index.php>

## 歯科放射線科

当科所属の研修医は放射線治療患者の口腔ケアや画像診断についての研修をおこないます



### 研修内容

- ・頭頸部がん放射線治療の治療前・中・後における**口腔ケア**を指導します。
- ・**歯科治療全般**は口腔ケア患者の診療を通じて習得することができます。
- ・放射線治療による味覚障害を予防する**マウスピース作成**を指導します。
- ・歯科エックス検査の他、CT、CBCT、唾液腺造影、核医学、超音波検査等の**画像読影**を研修します。



### 研修経験者の声

歯科放射線科の研修はとてもユニークです。一般の歯科治療を研修できる上、さらに歯科治療を通じて放射線治療に関わったり、特殊な画像検査の実施や検査画像の読影を研修することができます。他の診療科ではなかなか触れる事ができない研修内容で、研修はとても充実したものです。

### 研修後の進路

大学院で放射線学の研究に従事しながら、歯科放射線学会認定医や、放射線取扱主任者の資格取得等を目指すことができます。医局で管理している出張先がありますので、在学中の生活費のことなどについても相談に乗ることができます。



## 歯科麻酔科

### 歯科麻酔科プログラム

**全国最速(約2年半)で認定医取得、さらに5年で専門医取得も可能！**

全国に350人しかいない専門医資格を取得し、幅広い分野で活躍しよう

#### 研修内容

赤ちゃんから高齢者まで幅広く患者を担当し、研修1年目で全身麻酔100例以上・静脈内鎮静50例以上を経験できる実践重視のプログラムです。

1. 症例管理を通じて全身評価法を学びます
2. モニタリングの基本手法とデータ解析力を習得します
3. 歯科治療時の偶発症発生への対応力を身につけます
4. 精神鎮静法・全身麻酔の知識と基本手技（気管挿管・静脈路確保など）を実践的に習得します

#### 卒後の進路

大学病院や総合病院に加え、有病者歯科、障害者歯科、在宅訪問診療、フリー麻酔科医など幅広く活躍可能。一般歯科治療はもちろんのこと、基礎研究のバックアップ体制も整い、キャリアの選択肢は大きく広がります。

北大歯科麻酔科で**未来型の歯科麻酔科医**と一緒に目指そう！

Instagram [https://www.instagram.com/huda\\_hokudai\\_shikamasui/](https://www.instagram.com/huda_hokudai_shikamasui/)

## 口腔総合治療部

### 口腔総合治療部・総合型プログラム

「診れる歯科医師」の育成を目指します。

1年間を通して、多くの症例を経験しながら総合診療能力を身につけます。



#### 研修内容

- ✓ 保存系・補綴系・口腔系など**幅広い診療分野**を経験
- ✓ 医師を含む**総合診療チーム**による教育  
(医科外来見学・病棟往診・多職種カンファレンス・症例プレゼンテーションなど)
- ✓ 豊富な自験症例による**包括的歯科治療**
- ✓ **歯科臨床実践セミナー**（年間開催）
- ✓ **シミュレーション実習**  
(CR充填・支台歯形成・歯内療法など)



口腔総合治療学教室ウェブサイト



#### 卒後の進路

大学院（歯学院）へ進学すると、**最先端の歯科医療開発研究**に参画できます。  
また、北大病院医員（大学院生）として診療経験を積みながら研究を継続できます。  
認定医（日本歯科保存学会）や日本歯科専門医機構認定 歯科保存専門医（標榜可）の取得も目指せます。

大学院進学・研究・専門医取得まで、**一貫したキャリア形成**を支援します。



<https://www.den.hokudai.ac.jp/gen-dent/index.html>

## 高次口腔医療センター

### 高次口腔医療センターは

- ・口腔インプラント治療部門
- ・顎口腔機能治療部門
- ・顎関節治療部門

の3部門からなり、各部門に所属する歯科医師がインプラント、口蓋裂、顎変形症、顎関節症などの症例に対する診療をしています。

口腔外科、矯正、補綴などに通じる各専門医が所属しており、それらの専門分野や関連する診察をしています。

一般歯科では対応が難しいそれらの特殊な症例に対する専門的診察の見学や介助などで貴重な経験ができると思います。

## 口腔ケア連携センター

### 口腔ケア連携センターを紹介します

#### 研修内容

- ・がん治療周術期口腔管理研修  
がん治療患者さんの周術期口腔管理（全身麻酔手術前・後の口腔衛生管理や気管挿管用口腔装置など）や化学療法・放射線治療・骨修飾薬（デノスマブやビスホスホネート）導入前の口腔管理計画立案や導入後の定期的・長期的な口腔管理について研修します。
- ・医科歯科連携や多職種連携を理解し、参画できる歯科医師の育成を目指します。
- ・臨床研修を通じて、患者さんの生活習慣などからう蝕や歯周病などの歯科疾患の予防について考えられる歯科医師の育成を目指します。
- ・指導医4名（うち学会指導医（1名）・専門医（1名）・認定医（2名））が臨床指導します。

#### 研修後の進路

口腔総合治療学教室や歯科公衆衛生学教室など  
学内の大学院進学を希望される方を支援します。  
本センター医員として採用されることもあります。



当センターHP

[https://www.huhp.hokudai.ac.jp/center\\_section/kokukearenkei/](https://www.huhp.hokudai.ac.jp/center_section/kokukearenkei/)